

鳥取県漁業取締船 はやぶさ



漁業秩序の維持と水産資源の保護のため

鳥取県の海を守ります



キハラ式ステップ船首

ステップ船首とは船の全長を伸ばすことなく、船型の流体力学的な長さを伸ばすことにより、船体抵抗を減少し、波浪中の上下運動を減少させる効果があり荒天時でも高速航行が可能な特殊船型です。他県の漁業取締船でも採用されています。



ディープVワイドオメガ船型

船首から船体中央の断面は、滑走性能に優れた勾配が急なVディープV型とし、船体中央から船尾の断面は傾斜軽減効果を得るため、船底の舷側端をひねったオメガ型船底とすることで、急速操舵による傾斜を軽減し、高速航行時の安全性を確保しています。



減揺装置

波浪中の航行性能を向上するため、船底にキハラ式フィンスタビライザーを装備しており、横揺れが大幅に軽減されます。そのため、出動範囲も広がります。本装置は国内製造品のためメンテナンスが容易となります。



主機関

前取締船に搭載の主機関と比較して、重量が大幅に軽量化となりコンパクトな主機関ですが、出力はパワーアップしています。キハラ式LC型5翼プロペラとの組み合わせにより、プロペラ船でありながら36ノット以上の高速航行が可能となっています。



キハラ式LC型5翼プロペラ

従来型プロペラに比べ低出力での高速航行が可能であり、省燃費化と高速域における推力損失状態を防ぐことができます。省エネの高速航行が可能となります。また振動・騒音が従来プロペラより大幅に軽減されています。



塗装(カラーリング)

船体の塗装色は、昭和62年竣工の先々代、平成15年竣工の先代から引継いだ20世紀製を彷彿させるグリーンとしています。漁業取締船としては珍しい色です。また操舵室上部には遮熱塗料を採用、上甲板には、滑り止め塗料を採用しています。



船尾部張出甲板

船尾部の甲板を0.8m延長した張出甲板としているため、作業場所が拡大するとともに、全長4.2mの搭載艇を無理なく搭載しています。



居住設備

甲板下には待機室と乗員の個室6室を設け、限られたスペースを有効に活用しています。個室にすること及びトイレを2室とすることで女性職員にも配慮した船内空間としています。



防音・防振対策

機関室の天井を含む全壁に防音材を貼付けるとともに機関室と待機室との隔壁内にロックウールを挟み込み、騒音と振動を吸収させています。



海上監視カメラシステム

キセノン探照灯に電動開閉式の赤外線フィルターを装備し、近赤外線を照射することで夜間の監視においても被疑船に気づかれることなく監視することができます。システムをハイビジョン化し、証拠能力が向上しています。



監視装置

レーダー装置2台とカラープロッター(航海用電子参考図の表示器)及び船舶自動識別装置を装備し、それぞれの情報を各機器で共有することにより、総合的な監視が可能となり、密漁の監視能力が大幅に向上しています。



自動停船信号装置

国際信号書で定められている停船命令[L]を予め組み込んだ自動停船信号装置を装備したことにより、人員を割くことなく違反船に対して絶え間なく連続した停船命令を発することができます。

搭載艇

船底部がFRP、浮体がゴム製の長さ4.2mの複合艇を搭載しています。鳥取県東部のような入り組んだ地形の海域やロープの張り巡った定置網付近、取締船では入り込めない港などにおいても取締や落水者の救助、油流出事故への対応などが可能となります。なお、夜間航行も可能な仕様となっています。

通信機器

27メガ帯SSB送受信機・27メガ帯DSB送受信機・国際VHS無線電話・中短波無線装置を装備しているため、幅広く送受信することができます。また、取締船に簡易無線を搭載しているため、取締時において、搭載艇対取締船、陸上対取締船の通信が可能となっています。

鳥取県農林水産部水産振興局水産調整課

〒680-8570 鳥取市東町1丁目220 TEL:0857-26-7315

鳥取県境港水産事務所

〒684-0034 境港市昭和町9-7 TEL:0859-47-4060

空を飛ぶ「はやぶさ」

